

株主のみなさまへ

# 第63期報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで



# さまざまな分野に貢献する カワタの機器&システム

● 医薬品  
Pharmaceuticals



● 食品  
Food



● 化粧品  
Cosmetics



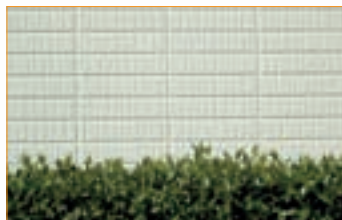
● 顔料  
Pigment



● 液晶用光学フィルム  
Glass for LCD



● 建材  
Construction materials



● プラスチック  
Plastic



● セラミック  
Ceramic



● 金属  
Metal



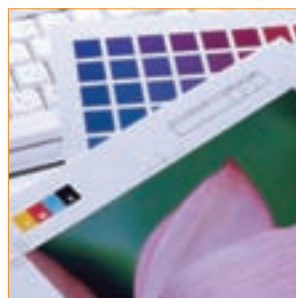
● 太陽電池  
Solar cell



カワタの理想的な  
ミキシング技術が、  
幅広い分野と多様なニーズに、  
お応えしています

KAWATA's ideal mixing technology  
meets the diverse needs of a wide  
range of field.

● カラートナー  
Color Toner



## ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

当社の第63期報告書をお届けするに当たり、一言ご挨拶申し上げます。

世界経済は緩やかに回復を続けてはいるものの、欧州の債務問題、原油高、先進国の高水準の失業率等、景気の下振れリスクが存在しております。一方、新興国の経済成長率も引き続き高水準ではありますが、拡大テンポは次第に緩やかになりつつあります。

わが国経済は、東日本大震災直後の落ち込みからサプライチェーンの復旧により夏場にかけて一時回復しました。その後、円高の進展、欧州債務問題、タイの洪水の影響等により弱めの動きとなりましたが、円高修正、米国経済の回復を受けて年度末にかけて持ち直しの動きが見られるようになりました。また、設備投資の動向を知るうえで先行指標の一つである機械受注統計の推移を見ても、製造業の機械受注額は12月が前月比7.1%減、1月が前月比1.8%減と落ち込んだ後、2月は前月比16.0%増と回復し、1~3月の見通しでも前年同期比1.6%増と弱含みながら増加傾向であります。

このような環境下、当社グループは、プラスチック成形関連のコアビジネスにおきまして、品質の向上、納期の確守、新製品の開発等、競争力強化によるマーケットシェアの拡大を図るとともに、電池、食品、化粧品等の新規販売分野の開拓・拡大に注力してまいりました。

この結果、売上高は中国、東南アジアが好調であったこと、国内においてもフィルム、シート等の液晶・電子部品関連の需要が堅調に推移したこと等により、前年同期比8億6千1百万円増（同6.8%増）の134億5千9百万円となりました。

損益面では、売上高の増加に伴う売上総利益の増加に加え、材料費を中心とした原価低減や諸経費の低減努力を継続してまいりましたが、価格競争の激化による売上総利益率の低下、国内における賃金カットの中止や中国における賃金上昇による労務費の増加等により、営業利益は前年同期比2百万円増（同0.4%増）の5億4千万円にとどまりました。更に、一時帰休の取

り止めに伴う助成金収入の減少、為替差損や社債発行費の発生等により、経常利益は前年同期比4千3百万円減（同8.6%減）の4億6千万円となりました。

しかしながら、主にマレーシア生産子会社の清算手続きに伴う固定資産売却益5千2百万円を特別利益に計上し、法人税等も前年同期比5千4百万円減の1億6千6百万円となったこと等により、当期純利益は前年同期比9千1百万円増（同39.8%増）の3億2千1百万円となりました。

世界経済は緩やかな回復基調ではありますが、欧州の債務問題、原油高、新興国の減速懸念等の景気の下振れリスクが存在し、わが国経済も持ち直しの動きが見られるものの、電力供給の制約と電気料金および原油価格の上昇等が懸念されております。

当社グループでは、かかる環境下、コア事業におきまして、生産拠点（日本、中国、インドネシア）および営業・サービス拠点（日本、中国、台湾、東南アジア、米国）相互の連携を強固にし品質、コスト、納期面での競争力を一層強化することにより、グローバル化するユーザーニーズへ対応しマーケットシェアの拡大と収益力の向上を図ってまいります。一方、高付加価値製品の開発や、電池、食品、化粧品等の新規販売分野の開拓・拡大にも積極的に経営資源を投下することにより、市場対応力のある企業として成長を続け、企業価値・株主価値を高めるとともに、コーポレート・ガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底、内部統制システムの整備・運用と改善の継続、人材の育成と強化により、経営体質の一層の強化を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月

代表取締役社長 湯川 直人

子会社等の状況

名称	住所	資本金又は出資金	事業の内容	事業上の関係
カワタU.S.A. INC.	米国 ペンシルバニア州	80千米ドル	プラスチック製品製造機器事業	「コネアカワタセールス&サービスCO.」に対する投資
カワタバシフィック PTE. LTD.	シンガポール国	2,000千シンガポールドル	〃	当社製品の販売・据付工事およびアフターサービス業務
カワタタイランド CO., LTD.	タイ国 バンコク市	10,000千タイバーツ	〃	当社製品の販売・据付工事およびアフターサービス業務
カワタマーケティング SDN. BHD.	マレーシア国 ネゲリセムビラン州	1,000千マレーシアドル	〃	当社製品の販売・据付工事およびアフターサービス業務
川田機械製造 (上海) 有限公司	中華人民共和国 上海市	1,875千米ドル	〃	当社製品の製造・販売・据付工事およびアフターサービス業務
PT. カワタ インドネシア	インドネシア共和国 西ジャワ州	1,000千米ドル	〃	当社製品の製造
川田国際股份 有限公司	中華民国 台湾省 新竹市	1,000千ニュー台湾ドル	〃	当社製品の販売・据付工事およびアフターサービス業務
川田機械 香港有限公司	中華人民共和国 香港特別行政区	100千香港ドル	〃	当社製品の販売・据付工事およびアフターサービス業務
(株)カワタ テクノサービス	大阪市西区	50,000千円	〃	当社製品の据付・配管工事およびアフターサービス業務
(株)サーモテック	大阪市西成区	33,400千円	〃	当社製品の製造
エム・エルエンジニアリング株式会社	静岡県藤枝市	75,000千円	〃	原材料および製品の一部を相互に供給している



設計、開発、生産拠点 (三田工場)



ロスイン ウェイト式連続粉体供給装置



減圧乾燥器 (省エネ型)



脱湿乾燥機 (省エネ型)



熱媒体循環温度調節機 180°C

セグメント情報

日本におきましては、フィルム、シート等の液晶・電子部品関連の需要が堅調に推移したこと等により、売上高は前年同期比5億7千4百万円増(同5.8%増)の104億8千3百万円となり、セグメント利益(経常利益)は前年同期比2億9百万円増(同64.0%増)の5億3千6百万円となりました。

東アジアにおきましては、中国における需要が好調に推移したこと等により、売上高は前年同期比3億7百万円増(同11.3%増)の30億2千2百万円となりましたが、中国において賃金上昇により労務費が増加したことおよび台湾においてEMS産業の設備投資が低調で損益が減少したこと等によりセグメント利益(経常利益)は前年同期比2千1百万円減(同10.4%減)の1億8千8百万円となりました。

東南アジアにおきましては、自動車関連等の需要が堅調に推移したこと等により、売上高は前年同期比1億6百万円増(同9.7%増)の12億5百万円となりましたが、インドネシアの生産子会社設立に伴う諸経費増加等によりセグメント利益(経常利益)は前年同期比ほぼ横ばいの1千2百万円にとどまりました。

北米におきましては、売上高は前年同期比7千万円増(同54.3%増)の2億1百万円となりましたが、営業費用も増加しセグメント損失(経常損失)が2百万円(前年同期は4百万円の利益)となりました。

なお、報告セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(単位:百万円)

	日 本	東 ア ジ ア	東南アジア	北 米	合 計	調 整 額	連結財務諸表 計 上 額
売上高							
外部顧客への売上高	9,854	2,223	1,181	199	13,459	—	13,459
セグメント間の内部売上高又は振替高	629	799	23	2	1,454	△1,454	—
計	10,483	3,022	1,205	201	14,913	△1,454	13,459
セグメント利益又は損失(△)	536	188	12	△2	733	△273	460
セグメント資産	11,889	2,134	1,044	105	15,173	△1,581	13,591

地域別売上高

(単位:百万円)

日 本	東 ア ジ ア	東南アジア	北 米	その他の地域	合 計
8,797	2,660	1,539	345	116	13,459

(注) 顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。



川田機械製造(上海)有限公司



川田(上海)有限公司



川田機械製造(上海)有限公司 第2工場



川田機械製造(上海)有限公司 第3工場 PT.カワタインドネシア

## 連結決算情報

### ● 連結貸借対照表

(単位：百万円)

区 分	当 期	前 期
	平成24年3月31日現在	平成23年3月31日現在
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	10,528	9,297
固定資産	3,063	2,608
有形固定資産	2,623	2,196
無形固定資産	26	26
投資その他の資産	413	385
<b>資産合計</b>	<b>13,591</b>	<b>11,906</b>
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	4,310	3,938
固定負債	3,854	2,778
<b>負債合計</b>	<b>8,164</b>	<b>6,716</b>
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	5,544	5,276
資本金	977	977
資本剰余金	1,069	1,069
利益剰余金	3,539	3,271
自己株式	△ 41	△ 40
その他の包括利益累計額	△ 275	△ 231
少数株主持分	157	144
<b>純資産合計</b>	<b>5,426</b>	<b>5,189</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>13,591</b>	<b>11,906</b>

### ● 連結損益計算書

(単位：百万円)

区 分	当 期	前 期
	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで
売上高	13,459	12,598
売上原価	9,961	9,224
売上総利益	3,498	3,373
販売費及び一般管理費	2,957	2,834
営業利益	540	538
営業外収益	55	78
営業外費用	135	112
経常利益	460	504
特別利益	87	1
特別損失	25	20
税金等調整前当期純利益	522	484
法人税、住民税及び事業税	164	226
法人税等調整額	2	△ 4
少数株主損益調整前当期純利益	355	263
少数株主利益	34	33
<b>当期純利益</b>	<b>321</b>	<b>229</b>

### ● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△686	138
投資活動によるキャッシュ・フロー	△532	△96
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,301	△113
現金及び現金同等物に係る換算差額	△45	△37
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	37	△109
現金及び現金同等物の期首残高	3,288	3,398
現金及び現金同等物の期末残高	3,326	3,288

## 単体決算情報

### ● 貸借対照表

(単位：百万円)

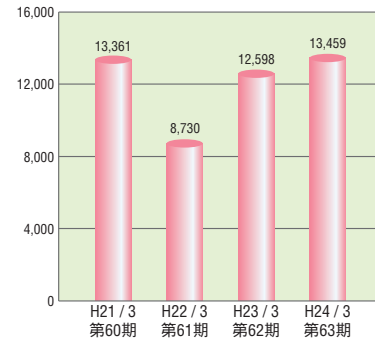
区 分	当 期	前 期
	平成24年3月31日現在	平成23年3月31日現在
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	6,227	5,235
固定資産	3,627	3,012
有形固定資産	2,282	1,795
無形固定資産	1	1
投資その他の資産	1,344	1,215
<b>資産合計</b>	<b>9,855</b>	<b>8,248</b>
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	2,089	1,814
固定負債	3,488	2,437
<b>負債合計</b>	<b>5,578</b>	<b>4,251</b>
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	4,255	3,982
資本金	977	977
資本剰余金	1,069	1,069
利益剰余金	2,250	1,976
自己株式	△ 41	△ 40
評価・換算差額等	21	14
<b>純資産合計</b>	<b>4,276</b>	<b>3,996</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>9,855</b>	<b>8,248</b>

### ● 損益計算書

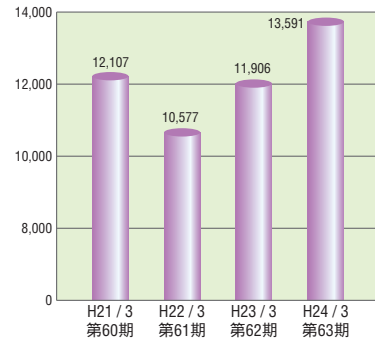
(単位：百万円)

区 分	当 期	前 期
	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで
売上高	7,783	7,325
売上原価	6,220	5,808
売上総利益	1,563	1,516
販売費及び一般管理費	1,477	1,511
営業利益	85	5
営業外収益	365	195
営業外費用	99	90
経常利益	351	110
特別損失	0	2
税引前当期純利益	350	108
法人税、住民税及び事業税	24	28
法人税等調整額	—	△ 1
<b>当期純利益</b>	<b>326</b>	<b>81</b>

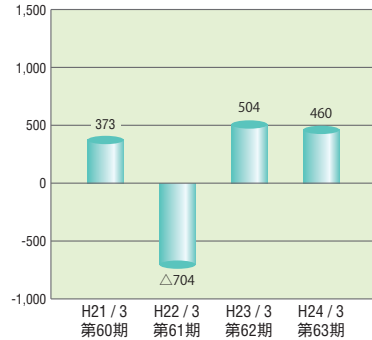
● 売上高 (単位：百万円)



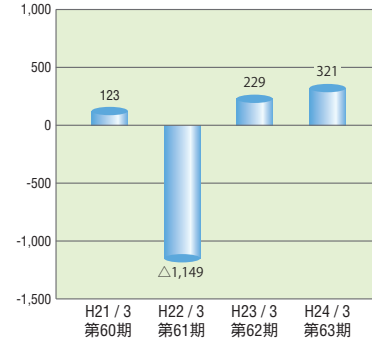
● 総資産 (単位：百万円)



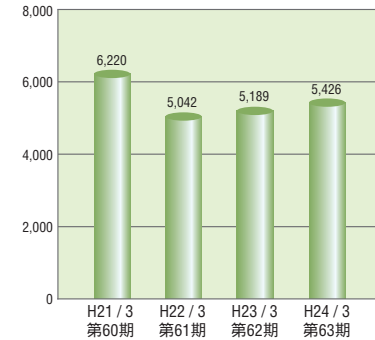
● 経常利益 (単位：百万円)



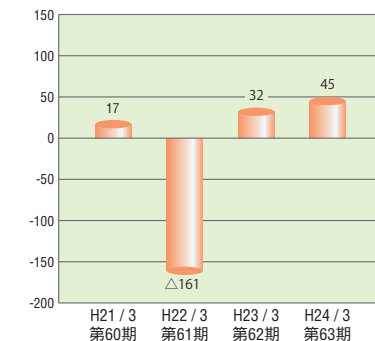
● 当期純利益 (単位：百万円)



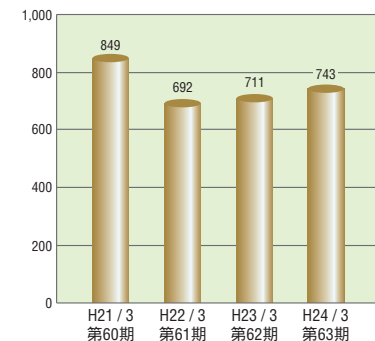
● 純資産 (単位：百万円)



● 一株当り当期純利益 (単位：円)



● 一株当り純資産 (単位：円)



(注) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

(平成24年3月31日現在)

商号	株式会社カワタ
	(KAWATA MFG. CO.,LTD.)
本社	〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目15番15号
設立	昭和26年7月13日
資本金	977,142,640円
従業員数	158名 (連結651名) (役員 出向社員 パート 嘱託は除く)
株主数	1,100名

主な事業所

本社	大阪市西区
仙台営業所	仙台市太白区
東京営業所	東京都中央区
高崎営業所	群馬県高崎市
北関東営業所	栃木県小山市
南関東営業所	神奈川県厚木市
静岡営業所	静岡市駿河区
名古屋営業所	名古屋市東区
大阪営業所	大阪市西区
広島営業所	広島市南区
九州営業所	福岡市博多区
三田工場	兵庫県三田市

役員 (平成24年6月28日現在)

代表取締役社長	湯川直人
代表取締役常務	尾崎彰
取締役	森畑秀則
取締役	柴孝幸
取締役	藤坂祐宏
取締役	荒川愼一
取締役	高塚雅博
常勤監査役	城豊治
監査役	内田重胤
監査役	軸丸欣哉

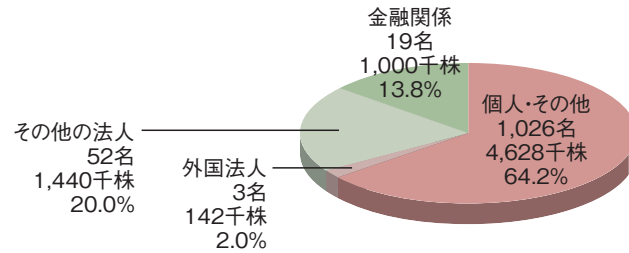
# 株式情報

- 発行可能株式総数 20,000,000株
- 発行済株式の総数 7,210,000株
- 単元株式数 1,000株
- 株主数 1,100名  
(前期末比56名減)
- 大株主の状況

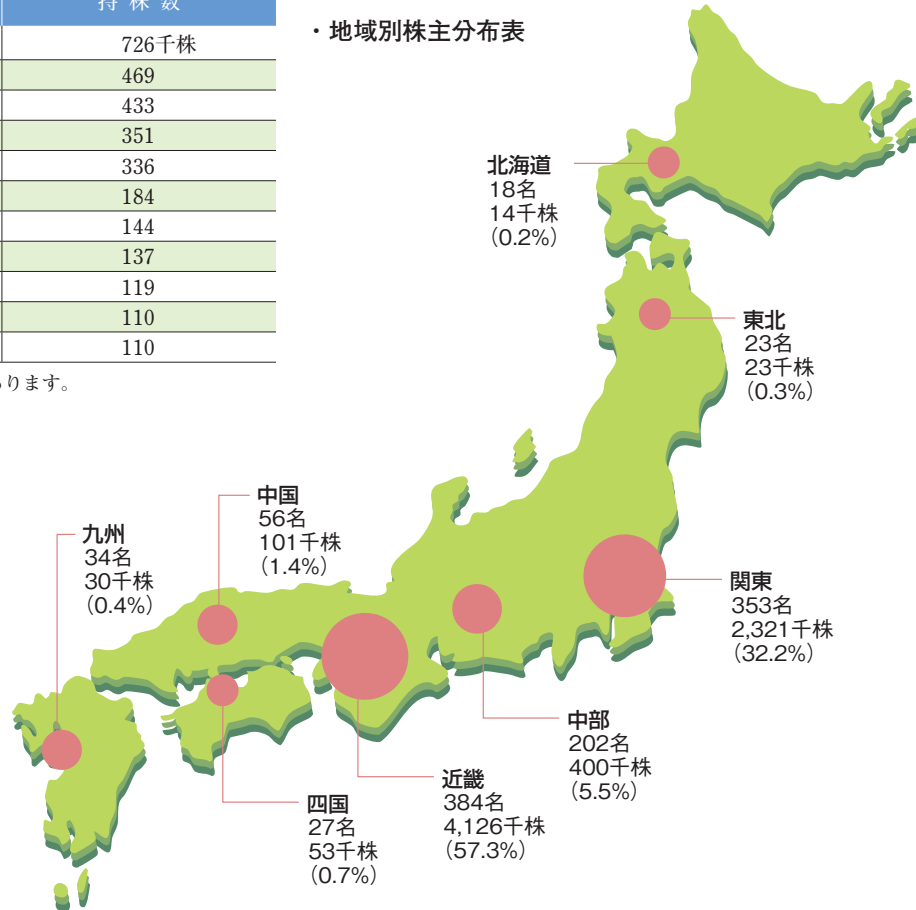
株主名	持株数
カワタ共伸会	726千株
カワタ従業員持株会	469
株式会社レイケン	433
株式会社三菱東京UFJ銀行	351
太田敏正	336
川田昌美	184
川田修弘	144
日本生命保険相互会社	137
有限会社エステートカワタ	119
明治安田生命保険相互会社	110
大阪中小企業投資育成株式会社	110

(注) 上記のほか、自己株式が121千株あります。

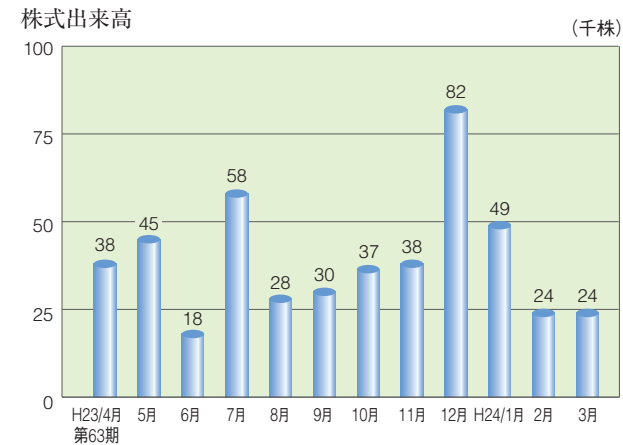
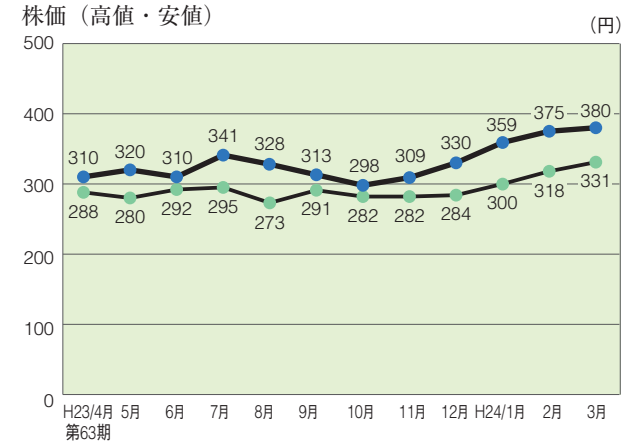
## 所有者別分布表



## 地域別株主分布表



## 株価チャート



## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月中
- 基準日 定時株主総会 3月31日  
剰余金の配当 期末 3月31日  
中間 9月30日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502  
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
☎0120-094-777 (通話料無料)
- 公告方法 電子公告  
当社ホームページ  
(<http://www.kawata.cc/>) に掲載
- 株式取引 大阪証券取引所ジャスダック(スタンダード)
- 会計監査人 新日本有限責任監査法人

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。